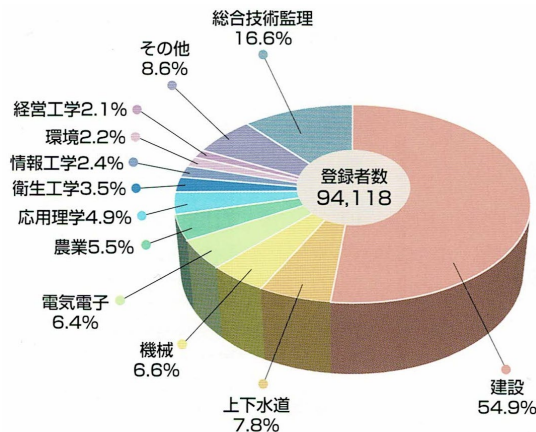


(公益社団法人) 日本技術士会及び九州本部の活動ご紹介

日本技術士会とは

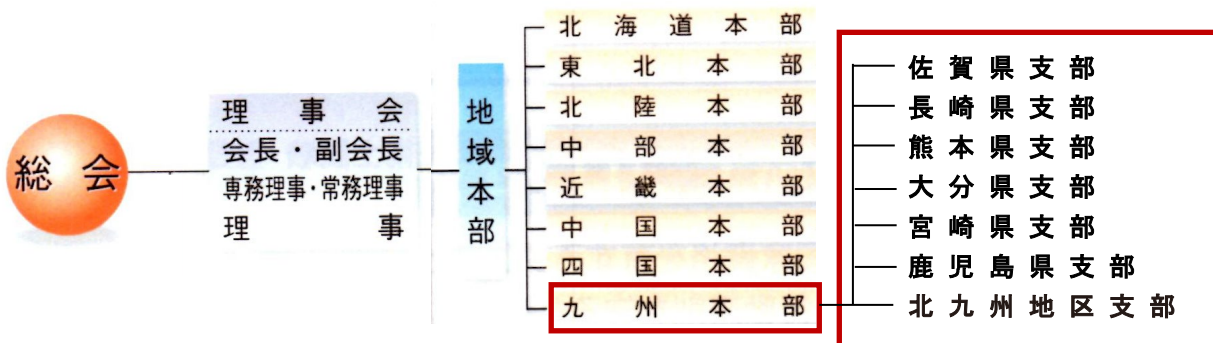
- ★技術士法に基づく、わが国で唯一の技術士による公益社団法人。
- ★目的と設立：技術士制度の普及、啓発を図ることを目的とし、1951年に設立された。
- ★技術士の技術分野：文部科学省が所管する資格。21の技術部門にわたる高度の専門的応用能力を必要とする事項の計画、研究、設計、分析、試験、評価等を中心とする業務分野で活躍。



(注)複数部門登録者は、それぞれの部門において計上している。

その他
 ●化学 ●金属 ●森林 ●船舶、海洋 ●航空・宇宙
 ●繊維 ●資源工学 ●水産 ●生物工学 ●原子力・放射線
 [2020年3月末現在]

日本技術士会及び九州本部の組織体制



九州本部の主要事業(会員数：約1400名)

①社会貢献活動の推進

- 官公庁、地方自治体等からの受託業務や、裁判所等の技術調査・鑑定への協力、防災支援活動
- 産学官民からの技術相談への対応・支援

②情報発信・連携の強化(広報活動)

- 関係学協会と連携し、技術士CPDに関する研修会、講演会、セミナー等の情報提供
- 技術士制度についての産学官への情報発信、技術者育成に向けた関係学協会との連携

③技術系人材の育成

- 大学等への広報・普及活動(在学生や教員を対象に技術士や技術士制度の説明会の実施)

④技術士及び技術者の倫理の啓発

- 大学や高専などにおける技術者倫理の講義
- 新人技術士など技術士を対象とした技術士倫理の研修

⑤技術士制度の普及・啓発

- 地域企業、大学、自治体と技術士が合同で行う「地域産学官と技術士との合同セミナー」の開催
- 国、自治体、関係機関等の地域産業活性化施策に対する技術面での支援・協力

⑥技術士の資質向上

- 九州本部、各県支部、北九州地区支部において、倫理、環境、安全、専門分野の最新技術、関係法令などの課題についての講演会、研修会、見学会の実施、及び技術の研鑽